

爽

令和直前の入学式でした。

四月九日、新入生177名を迎え、入学式がおこなわれました。新しい「令和」まで一か月を切りました。四月一日に菅官房長官が、記者会見で新元号を発表して以来、「令和」の出典となった『万葉集』が、あちらこちらで注目をあびています。その『万葉集』に、こんな和歌がありました。

石ばしる 垂水の上の さ蕨の 萌え出づる春に なりにけるかも

垂水(滝のこと)のほとばしり。岩の上の激しい流れ。傍らには芽吹いたばかりの蕨(わらび)。畳みかけるように、春の爽やかさが響いてきます。

新入生が過ごす三年間も、このような爽やかな時間でありますように！

